

食欲の秋 焼き鳥

柴胡苑

秋といえば「食欲の秋」ということで今年も「焼き鳥イベント」を行いました。天候にも恵まれ青空の下、厨房職員お手製のつくねと焼き鳥を焼き、漂う煙に食欲がかき立てられます。まだイベントが始まる前、焼き鳥を焼き始めるとすぐに、ご利用者が入れ代わり立ち代わり「まだ食べられないのかな」と言わんばかりにソワソワと覗いていました。

いざ始まると、普段は箸が上手く持てないご利用者もしっかりと串を持ちかぶりついていました。なかには手や口にタレをたくさん付け「お代わり」と笑顔で串を職員に差し出す姿がとても印象的でした。また、「どんなもんかね」と一緒に焼き鳥を焼いて下さる方もいました。あっという間に焼き鳥は完食し、大盛況のなか終了しました。終了後も残る焼き鳥の香りに「もっと食べたかったね」と名残惜しそうにされていました。



笑顔とお菓子の交換♪～ハロウィン～ KIDS+保育園

10月25日～31日の5日間、KIDS+保育園ではハロウィン交流イベントを企画しご利用者や職員との交流を行いました。

今年はアンパンマンに仮装した子どもたち。そして、もちろん職員もアンパンマンの仲間たちに仮装し一緒に楽しみました。大好きなアンパンマンになりきって元気いっぱいにご利用者のところへ行き「トリックオアトリート！」と言うとご利用者は子どもたちの姿に「可愛い 可愛い」と言いながら嬉しそうにお菓子を渡していました。子どもたちはご利用者からもらったたくさんのお菓子を大事に抱えながら得意のハイタッチや握手をしたり、歌と一緒に歌って交流を楽しみました。

昨年にご利用者との交流を恥ずかしがっていた子も、いくつかの交流イベントを経て積極的に関わりを持つ姿が見られ、老人ホームの中にある保育園だからこその楽しいイベントとなりました。来年はどんな仮装をしようかと職員の間では今から盛り上がっています。



職員コラム

Part: 114

虹の家 支援員 前田 恭二

私の趣味は旅行です。国内、海外問わず少し長めの休みを頂いた時は旅行へ出掛けています。一人旅が多く国内は全都道府県を、海外では11か国を巡りました。初めて一人旅をしたのが24歳の頃で思い切って当時乗っていた愛車で新潟方面へ行きました。海外で一番印象に残っている場所はフランスのモンサンミッシェルです。パリのモンパルナス駅からTGVという高速鉄道に乗りレンヌ駅まで行き、そこからバスに乗って到着です。周りが海に囲まれており潮の満ち引きが大きく干潮時には島の周辺を一周できます。ここでの宿泊は島内外のホテルに泊まることをお勧めします。時間帯によって島が色々な顔を見せてくれます。

自分の目で見て足で歩き、現地の物を食べてその土地の文化に触るのが旅行の醍醐味ではないでしょうか。好きな旅行へ行きリフレッシュをする事で仕事への活力となっています。



▼第395号の全ての文責等は、『福祉村だより』編集委員に属します。

福祉村だより

題字 相模福祉村代表：赤間 一之



11月号No. 395 2017年11月1日発行



虹の架け橋コンサート

～たんぽぽの家 コーラスサークルのみなさん～

発行人

相模福祉村理事長 赤間 源太郎

発行所 相模福祉村たんぽぽの家

住所 相模原市中央区田名6769

電話 042-761-7788 FAX 042-763-3318

E-mailアドレス sagamifukusimura@tanpoconoie.or.jp

ホームページアドレス http://www.fukusimura.or.jp



ホームページQRコード



秋の一泊旅行～ショッピング支援～

たんぽぽの家

秋となり旅行シーズンとなりました。たんぽぽの家でもこの時期になると一泊旅行に出掛けています。年に一度のこの旅行を楽しみにされているご利用者も少なくありません。観光で回る各所の観光名所もさることながら、旅行中の買い物もご利用者の楽しみの一つです。今回の一泊旅行では、そんな買い物の支払いを支援課題にしてみました。

その理由として、前回の旅行では金銭の支払いは担当職員が行い二日間のお金の振り分け、使い方も職員で計算していました。そこで、ご利用者のお小遣いは「ご利用者個人のお金であり、個人の財布から自分で考えて自分で支払う」のではないかと、という意見が上がりました。支払いを行うことはお金の重要性を知ると共に、社会性を養い、旅行の充実感にも繋がるものだと考えたのです。

実際の取り組みとしては個人の財布を用意し、可能な方は自分で購入して頂く。財布の管理が難しいご利用者は基本職員が管理を行い、支払いの際のみ金銭を渡し支払い、おつりとレシートの受け取りをご利用者に行って頂くというそれぞれのご利用者の特性に合わせた支援を心掛けました。中には最初のパーキングエリアで好きな物を買すぎてしまい一日で半分のお金を使ってしまう方や二日間しっかり計画を立てる方など人それぞれ自由な使い方が出来ました。「買いすぎちゃったから、明日は控えよう!」「まだ〇〇円あるから、、、」と自ら考える姿も見られました。どちらかを選ぶこと、計画すること、多くの事を考える姿があり、そんなご利用者の表情はとても楽しそうでした。またレジではお店の方と楽しそうに会話を弾ませるなど、支払いを通して人との繋がりも見られました。

2日間を通し、実際にご利用者が買い物を行って行く中で我々職員が感じたことは、「ご利用者の可能性はまだまだある」ということでした。ご利用者自身で考え、お金を使い、コミュニケーションをとる、そんなご利用者の姿に金銭のやりとりは難しいと決めてしまうのはご利用者の可能性を否定してしまうものであったと気が付きました。今後も園での外出や買い物の際にはこのような取り組みを進めていきたいと思えます。



私たちが育てたサツマイモで大学芋作り

相模はやぶさ学園

相模はやぶさ学園では、毎月2回麻溝ボランティアセンターの方々にご協力いただき、色々な農作物を育てる「畑クラブ」を行なっています。そんな畑クラブに参加している子ども達10名と、10月上旬芋ほりを行ないました。掘り起こしてみると6月上旬に植えた苗に大きなサツマイモが育っており、子ども達も植えた苗がこんなに大きく育つ事に感激していました。

そのサツマイモを2週間ほど干し、10月14日には畑クラブの子ども達と麻溝ボランティアセンターの方々に大学芋を作りました。フタをして煮込んでいる間も鍋の中を覗き込み、待ちきれないようでした。野菜嫌いな子ども達も自分達が作った野菜となると、美味しそうに口に運び、みんなで時間と手間をかけて作った大学芋は最高の味で、思わず笑顔がこぼれてしまうほどでした。これからも、子ども達と色々な農作物を育てていき食べる事の大切さ、人との触れ合いを知っていきたいと思っています。ご協力頂きました麻溝ボランティアセンターの皆様、紙面上からではございますが、厚く御礼申し上げます。



第10回 相模福祉村杯ゲートボール大会開催

縁JOY

連日の悪天候が続く中、つかの間の晴れ間がのぞく10月24日、麻溝公園スポーツ広場にて相模福祉村杯ゲートボール大会を開催いたしました。49チームの参加となった今大会はそれぞれのチームが日頃からの練習の成果を発揮される白熱した試合が続きました。



試合結果は、総合優勝・丸崎（上溝）、総合準優勝・ときわA（大沢）、総合3位・かりん（城山）となりました。紙面上ではございますが、共催にてご協力を頂いております相模原市ゲートボール協会様へ厚く御礼申し上げます。次回大会も多くのご参加をお待ちしております。



雨にもめげず…元気いっぱい!! 運動会!

KIDS+保育園

10月14日、縁JOY内保育園キッズ+では第2回運動会を開催しました。当日はあいにくの雨模様で屋内での実施となり、園児たちが楽しみにしていたかけっこは出来ませんでした。玉入れや親子競技で園児や親御さん、職員も楽しい時間を過ごすことが出来ました。縁JOYのご利用者も見学をして「がんばれー」と大きな声援を送っていました。

多くの人が集まり緊張の顔も見られた園児たちですが、練習の時以上に堂々と笑顔で競技を行えました。運動会を通し、お子さまの成長をまた一つ感じていただくことが出来たのではないのでしょうか。



長寿フェスティバル

虹の家

10月1日（日）に麻溝公民館で麻溝地区社会福祉協議会主催の長寿フェスティバルが開催され、虹の家からはたこ焼きを出店させて頂きました。

当日は天候にも恵まれ、会場には多くの地域の方々が来て下さりました。たこ焼きは焼き上がりが間に合わずにお待たせしてしまう事もあるほどご好評頂きました。毎年長寿フェスティバルに出店させて頂き、地域の方々と触れ合いや共に長寿のお祝いをする事が出来る事をとても誇らしく感じています。

長寿フェスティバルは約100人の80歳以上の方々が参加されているそうです。虹の家では76歳を迎えたご利用者がおられますが、皆さんが元気に80歳を迎えてこのフェスティバルと一緒に参加する事を楽しみにしている私です。

これからも地域の方々と寄り添い、共に歩みを進めていきたいと思えます。

